

目次

序	iii
はじめに	iv
1 診療アルゴリズム	2
2 前立腺肥大症の定義（用語と疾患概念）	4
1 前立腺肥大症をとりまく定義・用語の混乱	4
2 診療ガイドラインにおける前立腺肥大症	5
3 本ガイドラインでの前立腺肥大症の定義	6
3 疫学と自然史	7
1 前立腺肥大症の危険因子	7
1) 遺伝的要因	7
2) 食事と嗜好品	7
3) 肥満，高血圧，高血糖，脂質異常症および性機能障害	8
4) その他の危険因子	8
2 前立腺肥大症の自然史	8
1) 医療機関受診前の自然史	8
2) 医療機関への受診を規定する要因	11
3) 症状進行の危険因子の予測	12
4) 診断確定後の自然史	12
4 病態	18
1 前立腺の発生と機能	18
2 前立腺の腺増生とアドレナリン受容体	19
3 前立腺腫大と下部尿路症状と下部尿路閉塞	21
1) 下部尿路閉塞による排尿（排出）障害	22
2) 下部尿路閉塞による蓄尿障害	22
3) 下部尿路閉塞を伴わないもの	24
4) その他の病態	24
4 前立腺肥大症に伴う病態（合併症）	24
1) 尿閉	24
2) 肉眼的血尿	25
3) 膀胱結石	25
4) 反復性尿路感染症	25
5) 腎後性腎不全	25

5 診断	30
1 基本評価	30
1) 病歴の聴取	30
2) 症状・QOL 評価	32
3) 身体所見	34
4) 尿検査	35
5) 尿流測定	35
6) 残尿測定	35
7) 血清前立腺特異抗原 (PSA) 測定	35
8) 前立腺超音波検査	36
2 選択評価	37
1) 排尿記録	37
2) 尿流動態検査 (urodynamic study: UDS)	38
3) 腎機能検査 (血清クレアチニン測定)	38
4) 上部尿路超音波検査	38
3 その他の検査	38
1) 膀胱・尿道内視鏡検査	38
2) 静脈性腎盂造影	39
3) 逆行性尿道造影	39
Clinical Questions	42
CQ1 ■ 前立腺肥大症の診断・治療において、排尿記録は推奨されるか？ されるとすれば、それはどのような場合か？	42
CQ2 ■ 前立腺肥大症の診断において、前立腺形態・体積の評価にはどの ような検査が推奨されるか？	43
CQ3 ■ 前立腺肥大症の診断において、上部尿路の評価は推奨されるか？ されるとすれば、それはどのような患者に対して、どのような検査 方法が推奨されるか？	44
CQ4 ■ 前立腺肥大症を疑う患者には血清 PSA 値を測定すべきか？ また、PSA 値を評価する際には、どのような点を考慮することが 推奨されるか？	45
6 治療	47
1 治療の推奨のグレード	47
2 薬物療法	49
1) α_1 アドレナリン受容体遮断薬 (α_1 遮断薬)	49
2) 5 α 還元酵素阻害薬	57
3) 抗アンドロゲン薬 (anti-androgen drugs)	58
4) その他の薬剤	60

3 外科治療 (手術療法)	67
1) 開放手術 (被膜下前立腺腫核出術) [open prostatectomy (sub-capsular enucleation)]	67
2) 経尿道的前立腺切除術 (transurethral resection of the prostate: TURP)	69
3) 経尿道的前立腺切開術 (transurethral incision of the prostate: TUIP)	70
4) 生理食塩水灌流経尿道的前立腺切除術 (bipolar-TURP)	71
5) ホルミウムレーザー前立腺核出術 (holmium laser enucleation of the prostate: HoLEP)	72
6) レーザー前立腺蒸散術 (photoselective vaporization of the prostate by KTP laser: PVP, holmium laser ablation of the prostate: HoLAP)	74
7) 経尿道的前立腺剥離術, 経尿道的バイポーラ電極前立腺核出術 (transurethral detachment of the prostate, transurethral enucleation with bipolar system: TUEB®)	76
8) 組織内レーザー凝固術 (interstitial laser coagulation of the prostate: ILCP)	77
9) 高密度焦点式超音波治療 (high-intensity focused ultrasound: HIFU)	79
10) 経尿道的針焼灼術 (transurethral needle ablation: TUNA®)	81
11) 経尿道的マイクロ波高温治療術 (transurethral microwave thermotherapy: TUMT)	83
12) 尿道ステント (urethral stent)	87
13) 前立腺エタノール注入療法 (transurethral ethanol ablation of the prostate: TEAP)	88
14) ボツリヌス毒素 (botulinum toxin)	89
参考資料	
「本邦における過去 10 年間の前立腺肥大症に対する外科的治療の推移」(抜粋)	91
4 保存治療	93
1) 生活指導	93
2) 経過観察 (watchful waiting)	94
3) 健康食品	95
5 その他の治療	96
1) 尿道留置カテーテル	96
2) 間欠導尿	97
Clinical Questions	98
CQ5 ■ 前立腺肥大症に対して, α_1 遮断薬の長期投与は推奨されるか?	98
CQ6 ■ 前立腺肥大症に対して, α_1 遮断薬と抗コリン薬の併用治療は推奨されるか?	100
CQ7 ■ 前立腺肥大症に対して, α_1 遮断薬と 5 α 還元酵素阻害薬の併用治療は推奨されるか?	104

CQ8	■ 前立腺肥大症の外科治療の適応決定において、どのような尿流動態検査が推奨されるか？	106
CQ9	■ 外科治療（主に TURP）によっても症状が改善しない症例には、どのような対処が推奨されるか？	108
CQ10	■ 前立腺肥大症患者には、どのような食事、食習慣が推奨されるか？	109
CQ11	■ 前立腺肥大症患者には、アルコール摂取の制限が推奨されるか？	111
CQ12	■ 前立腺肥大症に伴う尿閉に対して、どのような対処が推奨されるか？	112
CQ13	■ 通常の外来・入院治療が困難な前立腺肥大症に対しては、どのような対処が推奨されるか？	113
7	前立腺肥大症の治療と性機能障害	115
1	外科治療における性機能障害	115
1)	射精障害	115
2)	勃起障害	116
2	薬物治療における性機能障害	116
1)	勃起障害	116
2)	射精障害	117
3)	性欲低下	117
	Clinical Questions	120
CQ14	■ 性機能障害を危惧する前立腺肥大症患者に対して、どのような治療を行うこと、または避けることが推奨されるか？	120
8	臨床試験に関連する基準	122
1	対象患者の採用基準	122
1)	選択基準	122
2)	除外基準	123
2	重症度判定基準	124
3	治療効果判定基準	125
4	治療効果判定で留意すべき事項	127
	索引	128